

第9回高安自然再生協議会のテーマと概要

平成28年12月19日(月) 午後5時30分～7時30分までを予定

ところ **大阪経済法科大学八尾駅前キャンパス**
1階 会議室

テーマ：高安地域のエコ・ツーリズムについて
『まいまい高安』の成功の可能性を話し合う

参加者：太田、松本、寺西、宮崎、宮嶋、新福、大橋、田倉、小林、福田、水谷、坂上、小西、横川、越智、町田、山本、加納、西辻、尹、深瀬、福田久美子、鄭、松浦、

アドヴァイザー：以倉、養父志乃夫、牧江良祐、坂上弘子、近田直人、町田弘

概要：高安地域は、八尾市においては唯一自然環境が残り、点在するため池で絶滅危惧種のニッポンバラタナゴが生息し、生物多様性が維持されています。神立・大窪・山畑地区の花弁栽培や服部川地区の国指定の千塚や大竹地区の心合寺山古墳などの史跡、また高安能や河内木綿の伝統文化とかかわりがある魅力あふれた地域です。この高安地域を自然再生しながらまちづくりするためには、その利点と魅力を十分に生かすことが重要であります。今回は、魅力ある高安地域のエコ・ツーリズムを実践していく成功方法について皆さんと話し合いたいと思っています。そこで、テレビなどで紹介されるプラタモリの企画・案内役をされた『まいまい京都』の代表者である以倉敬之さんを講師として参加してもらうことになりました。

まいまい京都とは

まいまいとは「うろうろする」という京ことば。

京都の住民がガイドする、京都のミニツアーです。

以倉さんは、5年前から京都で、『まいまい京都』実行委員会を設立され、2時間単位のミニツアーで年間500回のツアーを企画し、97%の稼働率で大成功されている方です。スタッフは25名ほどで、案内人はユニークな京都住民が多く、登録者は250名程度おられるらしいです。1つのツアー参加人数は15名と制限し、一人につき2000円～3000円のガイド料を集めておられるようです。そのノウハウを30分間で講演してもらおうと思っています。その後、高安地域で可能な2時間程度のミニツアーを5人の委員に準備していただき、みなさんに紹介するとともに、そのコースについて成功する可能性があるのか、

以倉さんからアドバイスとコメントをしてもらおうと考えています。できればすぐにでも『まいまい高安』の実行委員会を設立し、実施していこうと考えています。エコ・ツーリズムに関しては、環境省からもエコ・ツーリズム推進法に則り、補助金なども毎年公募されています。まずは、高安地域の自然再生とまちづくりの一環として、2時間エコ・ツアーの実施計画を策定し、『まいまい高安』で実施可能なツアーを実践し、さらに、魅力あるエコ・ツーリズムにまで作り上げていきたいと考えています。